

# 非正規雇用労働者 処遇改善事例 2023

～ 人材の確保・定着に向けた取り組み事例 ～

---

北海道では非正規雇用労働者の処遇改善を目的として、道内中小企業に対して支援プログラムを準備し、従業員の正規化や最低賃金の引き上げ、同一労働同一賃金といった非正規雇用労働者の処遇改善に向けた事業者支援を実施しております。

このプロジェクトでは、良質で安定的な正社員の雇用創出・確保を図ることを目的に、適用可能な助成金のご案内、経営支援、同一労働同一賃金の適正化に向けて、社会保険労務士やキャリアアドバイザーなどの専門家による個別支援を実施して参りました。

本事例集では、上記のうち専門家による個別相談を活用した企業の取り組み事例をまとめています。各企業様において、取り組みの参考としていただければ幸いです。

---



改善事例

1

# 株式会社麻生自動車センター

所在地：札幌市北区 従業員数 41名 資本金5,000万円

事業内容：自動車教習所の経営

キャリアアップ助成金申請における計画届、支給要件の理解が深まりました。



代表取締役  
菅 俊也さん

## COMPANY PROFILE

1964年9月、公安委員会指定・技能試験免除校である「麻生自動車学校」の運営を目的に設立。普通自動車・普通二輪・大型二輪・大型特殊の各種運転免許取得に対応。北海道で初となるオンライン学科教習を取り入れるなど、「お客様第一主義」をスローガンに掲げ、利用者から高評価を得ている。

担当アドバイザー

社会保険労務士法人  
シュエット  
小池 のぞみ



## 課題・ニーズ

- ・助成金の申請について
- ・就業規則の改定について

## 結果・効果

- ・利用可能な助成金の把握
- ・計画書、就業規則などの整備

アドバイスの内容は？

### 助成金を初めて利用するに当たっての注意点

助成金の申請に興味を持っていたものの、繁忙期と申請時期が重なり着手できませんでした。

そういった中で支援のご案内を頂き、以前から着目していた「キャリアアップ助成金」の計画届や記載方法、申請に向けた就業規則の見直しに着手する事ができました。

現在、非正規雇用している社員の年齢が50代であったこともあり、65歳超雇用推進助成金「高齢者無期雇用転換コース」の案内も受ける事ができました。

どのような取り組みをされましたか？

### 計画届の申請と就業規則改定

キャリアアップ助成金を得るための計画届の申請方法、申請に向けて就業規則の改定をご案内頂きました。

将来的な人事計画の選択肢を広げる事ができるとの話を受けまして、65歳超雇用推進助成金「高齢者無期雇用転換コース」の案内も受けました。

まずは就業規則の改定を進め、将来的に非正規雇用の研修や制度改定なども必要だと認識を持つことができ、多面的なアドバイスを頂きました。

感想や展望についてお聞かせください

### 高齢化社会を見据えた雇用と助成金の把握

弊社の場合、50代の非正規雇用の社員が在籍していますが、将来的に65歳を超えた際の継続雇用に向けて「何かやらなくてはならない」とは考えているものの、「何から手を付けてよいかかわからない」という方も多いと思います。

今回の無料相談は、親身になったカウンセリングを受けた印象です。就業規則やキャリアアップ計画書は具体的に「何を」「どのように」記載すれば良いか明確となりましたので、こういった支援事業があれば、雇用の継続にもつながると考えています。

今回は、タイミングや内容も良く大変助かりましたので、同じような会社さんにお勧めです。

# 日通ガスサポート株式会社

所在地：亀田郡七飯町 従業員数11名 資本金300万円 事業内容：運輸業

新規事業で得られる助成金の助言と非正規社員の正社員化に向けた課題点などが明確化した。



代表取締役  
山下淳一さん

## COMPANY PROFILE

2002年12月にプロパンガスなどの運送を目的に設立され、プロパンガスの小売業も併営している。会社本社地である亀田郡七飯町管内に受注基盤を有しており、知名度は高い。

## 担当アドバイザー

SATO  
社会保険労務士法人  
小林 琴美



## 課題・ニーズ

- ・ 新規事業開始に伴う助成金活用
- ・ 将来的な正社員化に向けた課題の把握

## 結果・効果

- ・ 利用可能な助成金の把握
- ・ 人材確保に向けた支援

### アドバイスの内容は？

#### 活用可能な助成金の理解

過去に助成金の申請を視野に入れ、金融機関等から紹介を受けて専門家に依頼した事もあったが、手数料と手付金、成功報酬を請求され、受注額が見合わないケースもありました。

今回、無償で支援を受ける事ができ、キャリアアップ助成金や地域雇用開発助成金の設備投資要件が明らかになった事で、将来的に活用可能な助成金が明確化し、自社での申請も考える事ができるようになりました。

### どのような取り組みをされましたか？

#### 将来の正社員化を見据えた現状の把握

現状ではいわゆる「望む非正規」の社員も多いため、今すぐ正社員化を進める方針はない一方で、社員の確保は課題となっています。

このため、まずは非正規で雇用し、その後正社員登用する方法も考えていく必要があります。

利用できる可能性がある各種助成金を理解でき、キャリアアップ助成金の要件についても確認できた事で、将来的に正社員に転換する際の備えとする事ができました。

### 感想や展望についてお聞かせください

#### 社員確保が事業継続の第一歩であると再認識

社員の家庭環境は様々で、子育てや税金の関係で正社員化に踏み切れないケースもあります。

その一方で、事業を継続していくためには、安定的な雇用の確保はどの会社さんも課題であると思います。

人手不足となってから急に制度を整備したのでは遅く、このタイミングでの無料相談によって、課題や方向性を見出すことが出来ました。また、助成金についてもアドバイスがありましたので、将来的には活用も視野に入れています。悩ましい課題ですが、まず専門家に聞いてみることで、第一歩を踏み出せました。

## 株式会社一条食品

所在地：札幌市北区 従業員数 39名 資本金350万円

事業内容：コンビニエンスストアの経営、ハンバーガーショップの経営ほか

助成金申請に向けた計画書の作成から、就業規則の変更まで支援を得られた。



代表取締役  
杉本史郎さん

### COMPANY PROFILE

1995年4月、グループの新たな事業展開として、フランチャイズによるコンビニエンスストア「ローソン」の店舗運営を開始。経営する店舗において人材育成に定評があり、本部より委託を受けた調査会社（ミステリーショッパー）より最高ランクの評価を受けた実績を有する。

### 担当アドバイザー

社会保険労務士法人  
シュエット  
小池 のぞみ



### 課題・ニーズ

- ・ 労務管理体制の構築
- ・ アルバイトの処遇改善
- ・ 助成金の申請について

### 結果・効果

- ・ 利用可能な助成金の把握
- ・ 正社員化に向けた就業規則などの整備

#### アドバイスの内容は？

#### 活用可能な助成金とそれに向けた規則改訂の整備

過去に数名の正社員化を行ってききましたが、助成金を利用する事はできませんでした。

現在、当社グループではローソン、バーカーキング、ミスタードーナツといった店舗を運営しているため、アルバイトは300名前後を雇用しています。

労務管理については旧態依然のままであったため、就業規則を改訂した一方で過去にキャリアアップ助成金の申請検討をしたものの、利用できなかった経緯があります。

今回の支援によって助成金の支給要件が変更になったことがわかり、就業規則の確認を行い、不足事項についてアドバイスを受けました。

#### どのような取り組みをされましたか？

#### 就業規則の見直しなど

利用できる可能性がある各種助成金を把握できた一方、現行の就業規則に課題があることも理解し、就業規則の見直しに着手しました。

具体的にはキャリアアップ助成金申請に向けた就業規則の不足事項確認、これに加えて、キャリアアップ計画書の記載方法、また、派遣労働者も助成金の申請対象であることについて説明を受けました。

これによりパートアルバイト就業規則、契約社員、派遣社員向け就業規則の変更にも着手する事ができました。

#### 感想や展望についてお聞かせください

#### 現在の課題が明確に今後の道筋が鮮明化

コロナ関連の規制緩和を背景に国内旅行者及びインバウンドの回復もあって人流は増加。経営する各店舗も利用者増に繋がっており、経済活動の活発化もあって人手不足が続く中、人材の重要性はより高まっています。北海道内においては、最低賃金の上昇や人手確保のための賃金相場上昇があり、社員を安定的に確保するためには、各方面で処遇改善を進める必要があると感じていました。

今回の支援を受けた事で、申請可能な助成金の把握や不足していた規定の項目が明確になり、今後の道筋が鮮明化されました。

今後は今回のアドバイスを活かしてより良い職場環境を整備していきたいと思っています。

# マーク商事株式会社

所在地：函館市桔梗町 従業員数27名 資本金4,000万円 事業内容：総合商社

正社員化の際に得られる助成金の明確化と新規事業、M&Aなどで活用できる助成金の理解が深まった。



代表取締役  
熊谷貴典さん

## COMPANY PROFILE

2016年2月、自動車タイヤ等の販売業を営む目的で設立。積極的な事業展開により札幌営業所の開設を皮切りに、2017年2月に亀田郡七飯町に本社機能を移転、函館支店兼タイヤセンターを稼働。2018年8月に東京営業所、同年10月に千歳営業所を開設など7拠点で稼働。管内有数の運送業者である（株）巨都運輸の系列として自動車タイヤ・部品販売の卸売業を主業としながらもM&Aにて積極的に事業領域を拡大している。

## 担当アドバイザー

SATO  
社会保険労務士法人  
小林 琴美



### 課題・ニーズ

- ・正社員化による助成金の活用
- ・M&Aなどの事業で利用できる助成金の理解

### 結果・効果

- ・利用可能な助成金の把握
- ・事業拡大に向けた総合的な支援

アドバイスの内容は？

どのような取り組みをされましたか？

感想や展望についてお聞かせください

## 基準を満たす助成金について

設立初年度から積極的な事業展開を図り、事業拡大に伴って増員を図ってきた経緯があります。スクラップ&ビルドを行いながら、現在は次なる事業展開を進めている最中です。そのためには労働力確保が不可欠であり、定期的に非正規労働者から正規雇用への切り替えを行ってきました。

正規雇用化に向けて主にキャリアアップ助成金をメインに利用してきたものの、そのほかどのような助成金があるか、問い合わせをさせていただきました。

今回、無償で支援を受ける事ができ、キャリアアップ助成金のほかに特定求職者雇用開発助成金や労働移動支援助成金などを知る機会を得た事はとても有益な事です。

## 非正規社員の正規化

事業拡大に向けて労働力を必要とする中で、世の中には正規化を望まない労働者が多く見受けられます。一方、労働者の環境をより良くするためには、非正規契約ではなく、正規雇用へ切り替える事によって、雇用の安定と収入増に繋がり、福利厚生などの手厚いサポートを受ける事ができるようになります。

社員としての活躍の場を設けるため、また、働き手の良質な環境整備に向けて得られる助成金を事前に把握できたことで、積極的な雇用拡大に向けた取り組みができるようになりました。

## 新規事業やM&Aで得られる支援

新規事業に対して意欲的に取り組み、電気設備工事や警備業、ITを専門とする関連会社をそれぞれ展開し、M&Aを実行しながら事業基盤を拡大して参りました。

多くの企業の現状を見ると、業態・エリアを問わず人手不足感には否めませんが、助成金の内容を知り得る事で採用に直結できるケースがあります。

非正規契約から正規雇用化への切り替えは勿論の事ですが、本事業を活用して専門家に相談する事で、採用への活路が見い出せる可能性が広がるのだと認識が深まりました。